

第五期赤井川村総合計画（案）に対する意見募集（パブリックコメント）の実施結果について

令和8年2月10日から令和8年2月20日まで、第五期赤井川村総合計画（案）に対する意見募集を実施したところ、下記のとおりご意見をいただきました。寄せられましたご意見と村としての考えを公表致します。貴重なご意見をありがとうございました。

意見 提出者	意見 番号	意見及びその理由 (原文のとおり)	村の考え方
1	1	JA 新おたるが農業振興センター事業から撤退することが決まり、センターでの苗供給という村の農業生産基盤、農業生産の足元が不安定となっている状況です。村としてどのように取り組んでいくのか、総合計画・総合戦略、いずれにおいても触れられていないのは、現場の生産者が抱える課題と、あまりにも乖離しているように感じます。	<p>ご意見のありました点に関して、苗供給に対する個別の記載はございませんが、「農業生産基盤の充実」（P24）の取り組みを進めていく中で包含される課題の一つだと考えております。</p> <p>課題への取り組みを進めていく中で個別計画においても検討させていただきます。</p>
1	2	<p>該当ページ：80 該当項目：重点戦略5</p> <p>官民学連携による取り組み数(目標値3件)、地域活性化起業人導入件数(目標値3人)というKPIが設定されています。これらは、「取り組み件数」と「導入件数」、いずれも「やったかどうか」を測るのみで、それによって「村はどう良くなったのか」を測れるものではありません。本文中に述べられているように、外部との連携は、そもそも価値創出・課題解決のための「手段」であるはずです。だとすれば、設定するKPIは、外部連携の取り組みによって、結果として「価値創出」「課題解決」という目的に繋がったかどうか、取り組みの質や継続性を測れるものであるべきだと思います。またKPIで、「地域活性化起業人」という特定事業の件数をピックアップしている点も、なぜかな？と気になりました。連携の形は多様にあるはず。</p> <p>全体的に、外部連携が目的化し、目的と手段が逆転したような内容になっている印象です。</p>	<p>ご意見のありました総合戦略 重点戦略5のKPIの設定について、「価値創出」や「課題解決」に取り組むためには、まずは外部との接点を増やすことが基盤形成として重要であると考えていることから KPI を件数で設定しています。</p> <p>また、「地域活性化起業人」については、既に活用実績もあり、具体的な人材確保策の一つとして明確な指標として設定しました。これに限らず、外部との多様な連携を視野に入れながら、外部連携を目的化することなく、より効果的な外部人材の活用を図り、村の課題解決と価値創出に資する取り組みへと発展させてまいります。</p>